



報道機関 各位

記者発表資料
令和元年10月17日(木)
問い合わせ先：国際芸術祭開催準備室
室長：杉本
担当：小暮、吉田
電話：048-829-1225
(内線) 2815~2817

さいたま国際芸術祭2020-Art Sightama-連携プロジェクト
「夢の壁画作成～みんなでつくろうまちなみスポット～」を実施します

さいたま国際芸術祭実行委員会は、公益社団法人埼玉中央青年会議所と連携し、「夢の壁画作成～みんなでつくろうまちなみスポット～」事業を実施します。

本事業は、大宮区の小学生が思い描いた「大宮区の未来」をもとに、埼玉県立大宮光陵高等学校の生徒たちの協力により『夢の壁画』を制作し、大宮ほこすぎ橋に展示するものです。

このたび、夢の壁画作成にあたり、さいたま国際芸術祭2020参加アーティスト指導の下、大宮区の小学生たちによる「大宮区の未来」を描くワークショップを行うこととなりましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1 ワークショップ概要

- (1) 日時 令和元年10月19日(土) 13時～16時30分
- (2) 場所 市民会館おおみや 小ホール
さいたま市大宮区下町3-47-8 地下1階
- (3) 参加者 大宮区内の小学校に通う4～6年生
- (4) 内容 グループディスカッション
大宮区の未来を思い描いた絵の作成
発表会

2 参加アーティスト



浅見 俊哉 (あさみ しゅんや)

美術家・造形ワークショップデザイナー

1982年東京都葛飾区生まれ。現在埼玉県在住。

2006年文教大学教育学部美術専修卒業。

「時間」と「記憶」をテーマにカメラを使わない写真作品(フォトグラム)を制作する一方、その魅力を伝えるワークショップを全国各地で開催する。「つくること」と「つたえること」の両輪を持って活動することが自身の芸術活動であると考え、制作者と鑑賞者の創造力を双方向に生み出す「場」や「時間」を精力的につくる。2018年より「さいたま国際芸術祭2020」市民プロジェクト・コーディネーターを務める。



寿の色（じゅのしき）

さいたま育ち。武蔵野美術大学油絵学科卒業。
身近に溢れるたくさんの色を取り入れて、
作品づくりや造形ワークショップを行う。

さいたま市中央区役所や、与野本町・鈴谷「路地裏 GarageMarket」
をはじめ、さいたま市での活動を中心に、店舗の壁画や看板の作成、
絵描きやとしてイベント出店、ライブパフォーマンスを行ったりも。
この夏、浦和区針ヶ谷にて造形教室を開いたばかり。



懸谷 直弓（かけや なゆ）

アイテムクリエイター・美術家。ゴブリンとエルフのハーフ。埼玉県
所沢市生まれ。

大妻女子大学文学部日本文学科首席卒業後、都市銀行での勤務を経て、
東京藝術大学美術学部先端芸術表現科で学ぶ。

在学中に e-Sports「HADO」のデザイナー兼イベント MC となり VR・AR
ゲーム業界に関わる。2018 年に「2.5 次元の触覚」が東京都知事賞を
受賞し、上野恩賜公園内に長期展示される。現在は、工場と美術を繋
げる「アート&ファクトリー」活動をはじめ、愛に触れる手段を表現
するべく作品制作を行っている。朝日新聞社 withnews 連載予定。講談
社「FRIDAY」美女水着図鑑 3 位。東京農林水産を盛り上げる TOKYO
LOVERS メンバー。皇国晴酒造コラボ企画クラウドファンディング 130
万円達成。井野アーティストヴィレッジ所属。

3 今後の予定について

令和元年10月20日（日）～ 壁画制作（協力：埼玉県立大宮光陵高等学校）

11月27日（水） 壁画設置（場所：大宮ほこすぎ橋）

11月28日（木） 記念撮影会（場所：同上）

さいたま国際芸術祭2020-Art Sightama-について

●開催期間 2020年3月14日（土）－5月17日（日）[65日間]

●テーマ 「花 / flower」

●会場 メインエリア（大宮エリア）

旧大宮区役所、旧大宮図書館、大宮盆栽美術館、鉄道博物館

その他

彩の国さいたま芸術劇場、埼玉県立近代美術館、うらわ美術館、

他市内各所

●公式 WEB サイト URL <https://art-sightama.jp/>

●オリジナル PR ムービー公開中



オリジナルムービーはこちら⇒